

地域のつながり実態把握調査結果



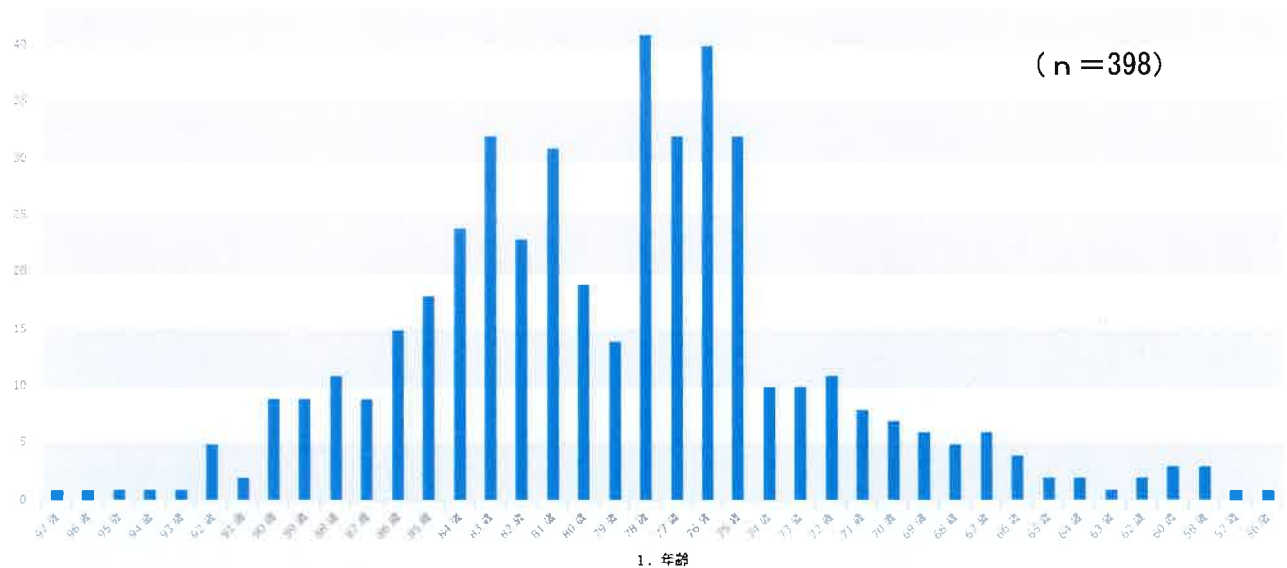
大井町・大井町社会福祉協議会

調査概要

1. 実施期間 令和7年8月～10月
2. 調査方法 民生委員児童委員による聞き取り調査・配布
小地域福祉活動推進組織サロン参加者
老人クラブ連合会会員
3. 対象者 要支援高齢者・世帯等で民生委員児童委員が特に配慮をしている方。また、地域のサロン等に参加されていた方
4. 回答数 469件
5. 調査項目 国が実施している「人々のつながりに関する基礎調査」の設問を引用するとともに、独自の項目を追加した。
独自の項目については、本会が地域福祉を推進する上で優先課題と位置付けている次の内容を加えた。
◇自治会加入状況について（自由意見あり）
◇外出頻度とその手段について（自由意見あり）
◇スマートフォンの所有状況と用途について
◇地域で開催されたら参加したい催しについて
上記項目と孤独・孤立の因果関係を明らかにし、小地域福祉活動推進組織・民生委員児童委員・行政担当部局等を共有し、関係機関と連携・協働で「安心して誰もが住みよい福祉のまちづくり」地域共生社会の実現をめざします。
6. その他 表、グラフで使っている（n）は各質問に対する回答者数です。回答不詳がある場合全体の数と一致しません。百分率で表示し小数点以下第2位を四捨五入しました。回答者を絞った質問では原則該当者を100%としました。

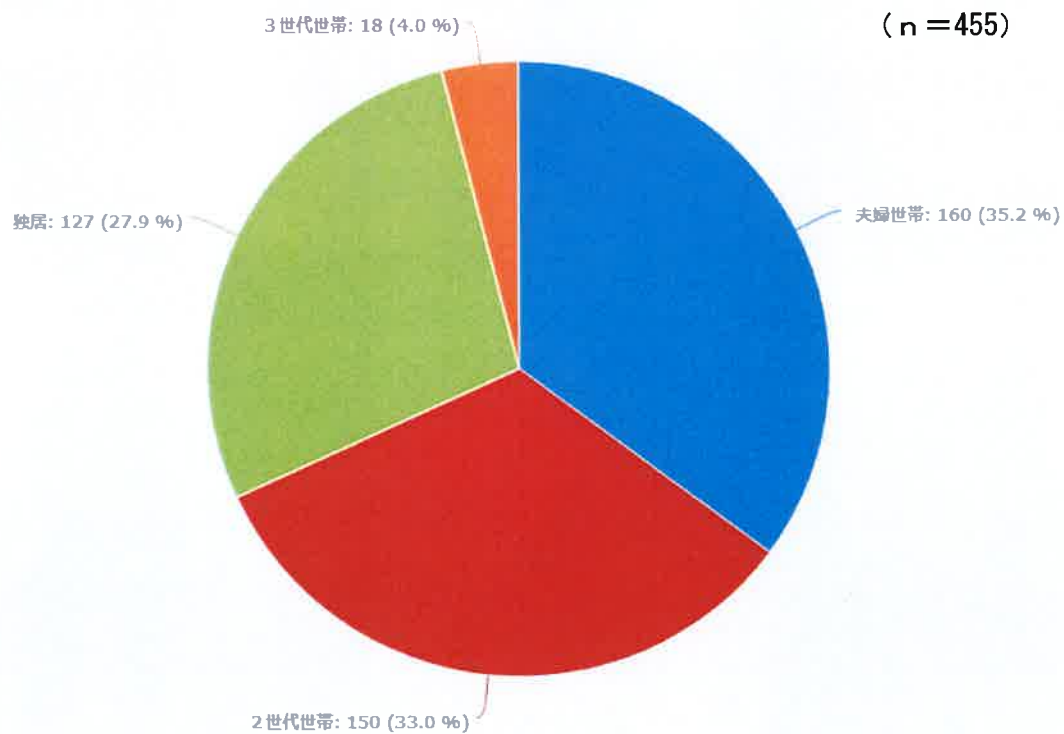
結果概要

①回答者の年齢



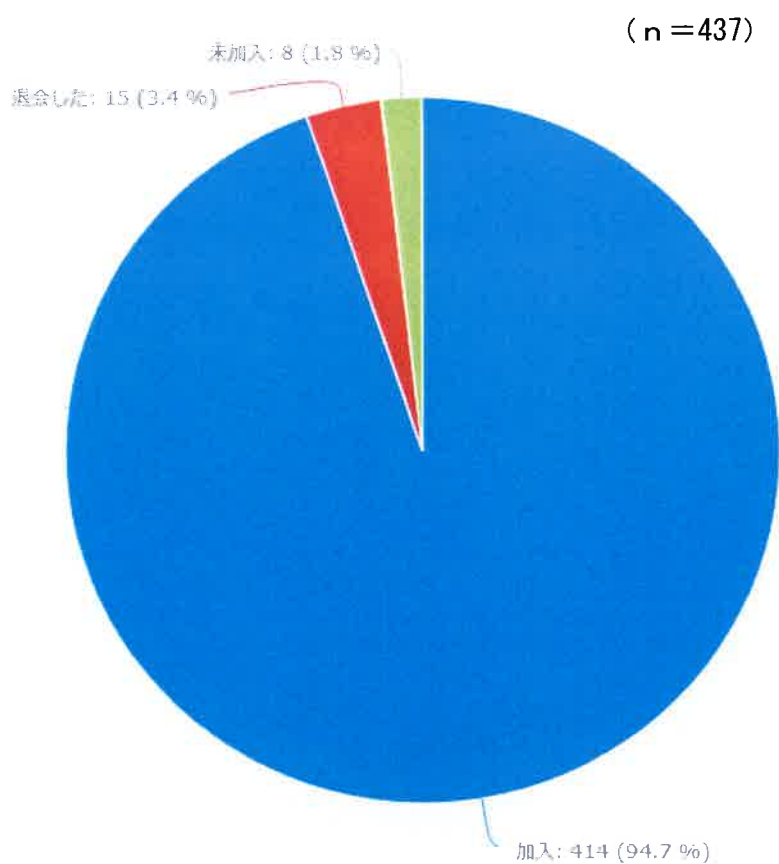
56 歳から 97 歳の方に回答いただきました。75 歳から 83 歳までの方が割合として多くなっています。

②回答者の世帯構成



夫婦世帯・2世代世帯・独居の方が約3割ずつという割合となりました。

③回答者の自治会加入状況

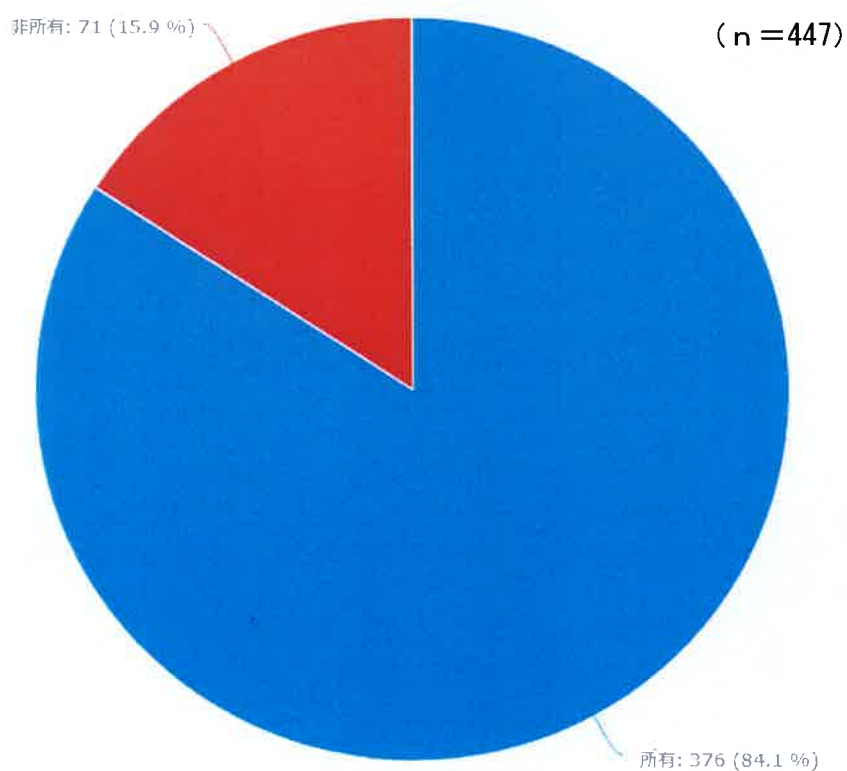


本調査の有効回答数での自治会加入率は94.7%と高い割合となりましたが、町全体での加入率は年々低下しています。

近年は高齢者世帯での退会、それに伴う組の消滅といった現状があるようです。

※本項目への未回答者が32名いられます。

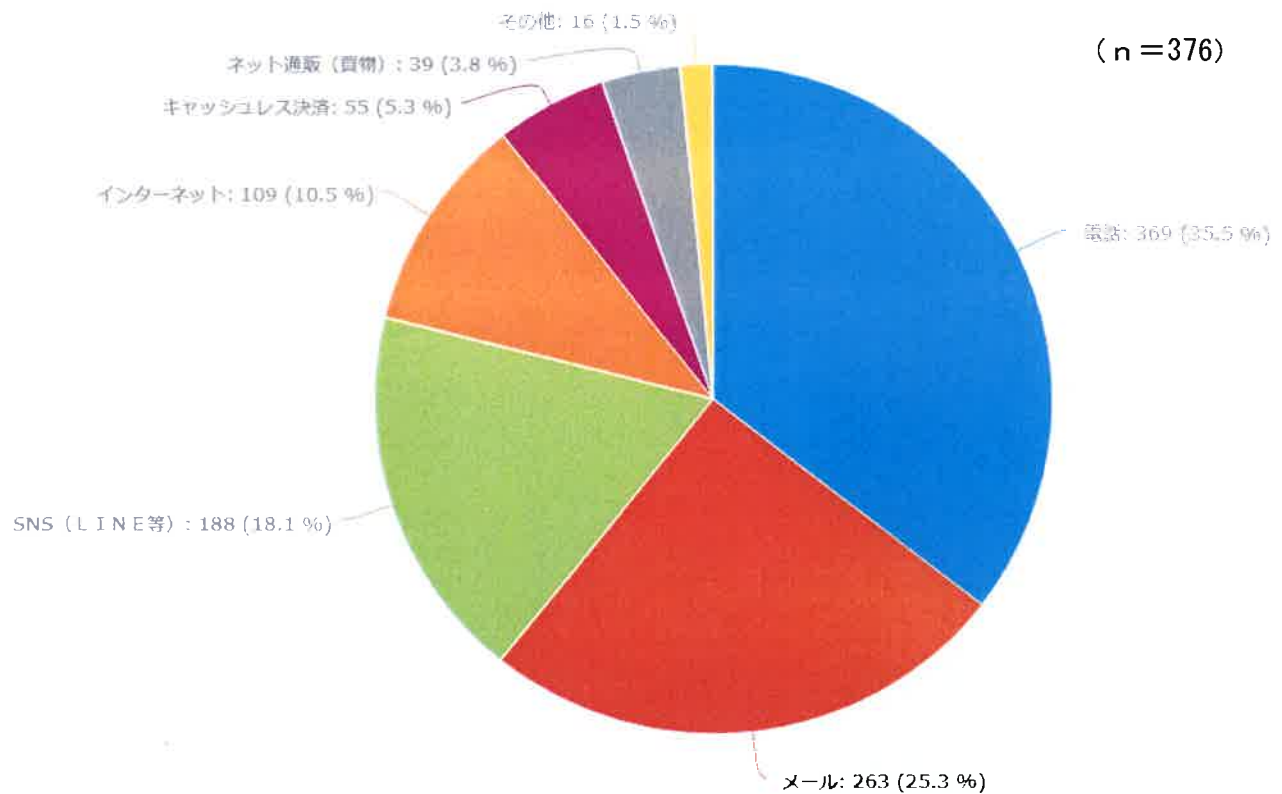
④スマホに関する結果 保有状況 活用状況



スマホ（スマートフォン）の所有率は84.1%と高い割合となっています。

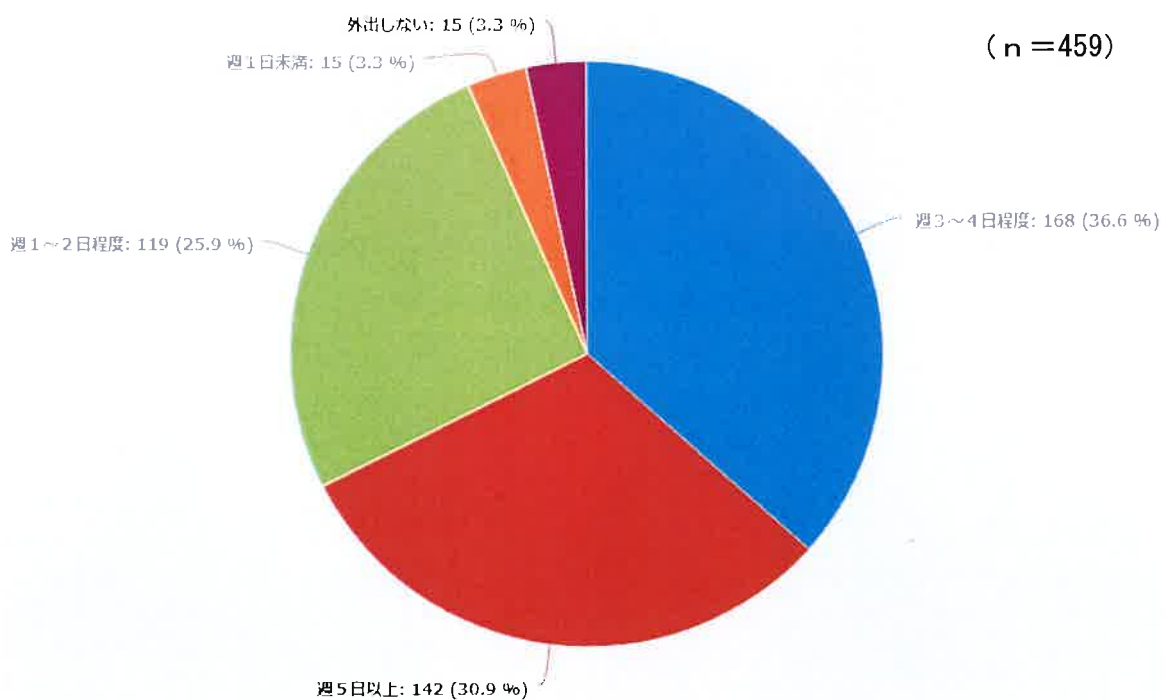
その用途については、電話のみの方からメール・SNS・スマホ決済まで活用する方など、個人差が大きいようです。

⑤スマホの使途 ※複数回答あり



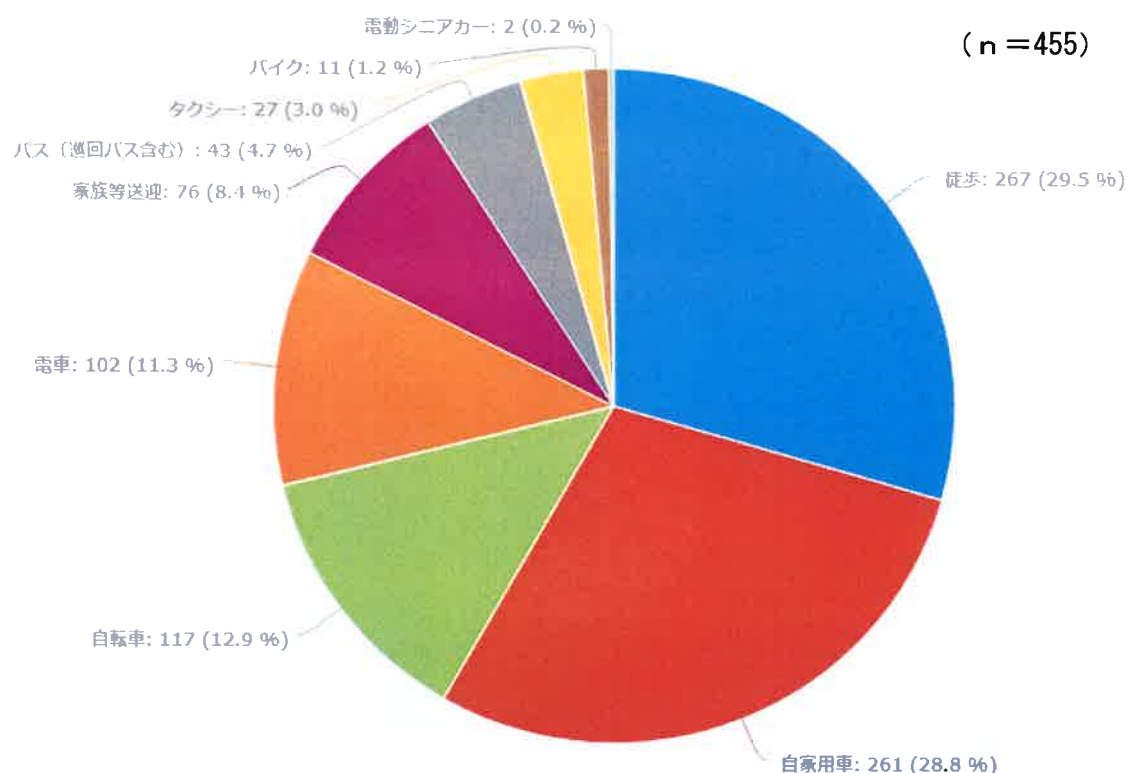
スマートフォンの活用が広がってきています。電話の利用は 98.1%の方が利用し、メール 69.9%の方が、SNS は 50%の方が利用されていることが分かりました。こうした活用により、孤独・孤立感が解消されているという結果が出ています。

⑥外出頻度



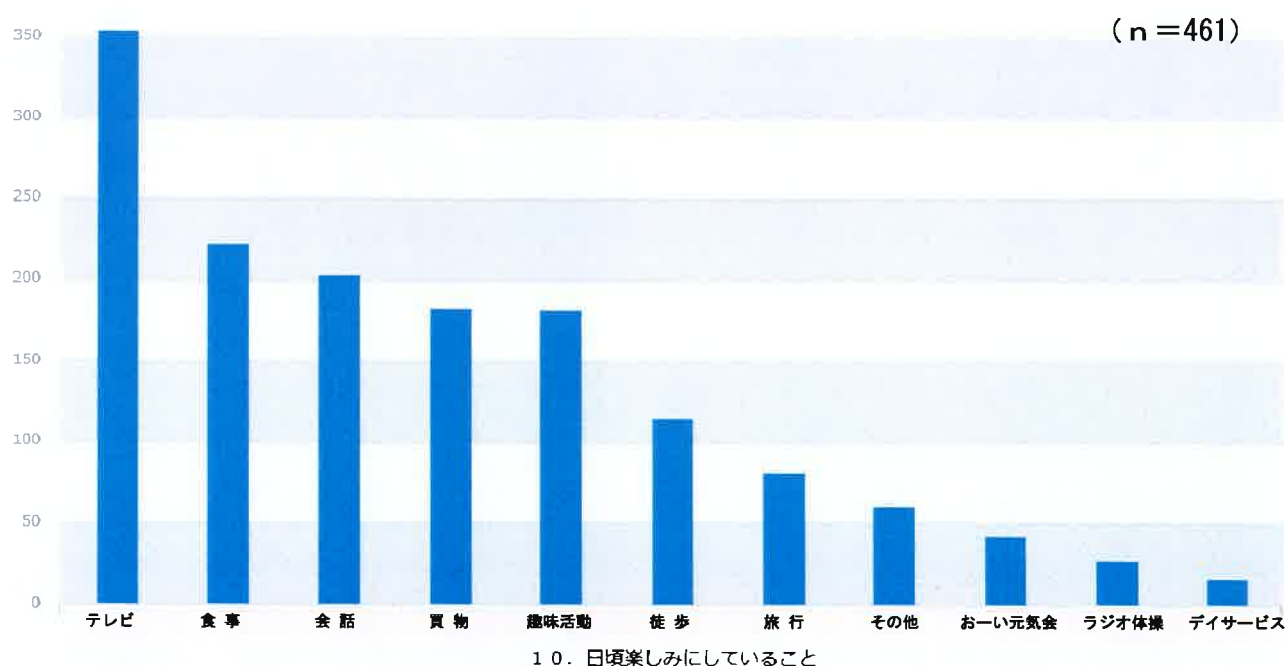
週に 3~4 日、5 日以上と外出の頻度が高い方が 67.5%と高い割合となりました。一方で、週 1 日未満、外出しないという方が 6.6%いられます。フレイルや認知症の発症などが危惧されます。

⑦外出手段 ※複数回答あり



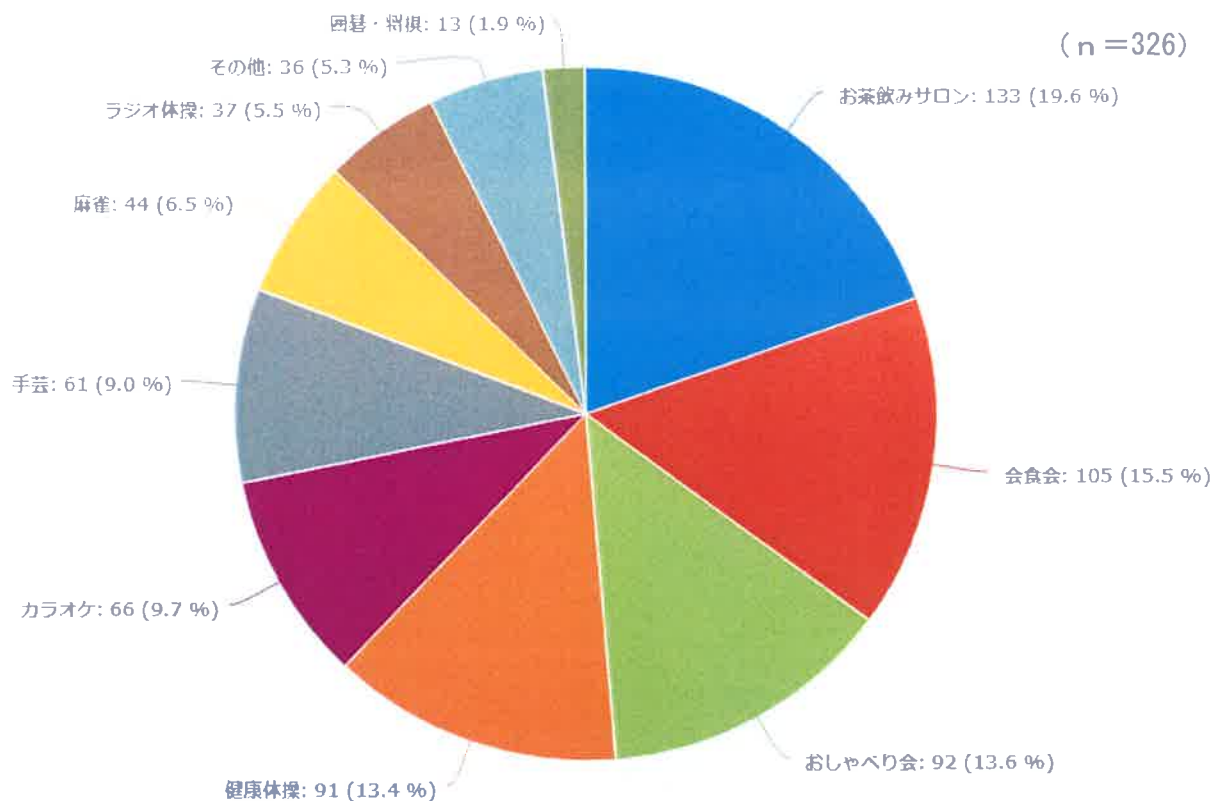
回答者の 58.8%の方が自家用車を使用していますが、免許返納に関しては「返納して移動手段がなくなり困っている」「返納したいが、生活のことを考えると返納出来ない」など課題が多く自由記載に不安の声やご意見が多数出されています。

⑧日頃の楽しみ



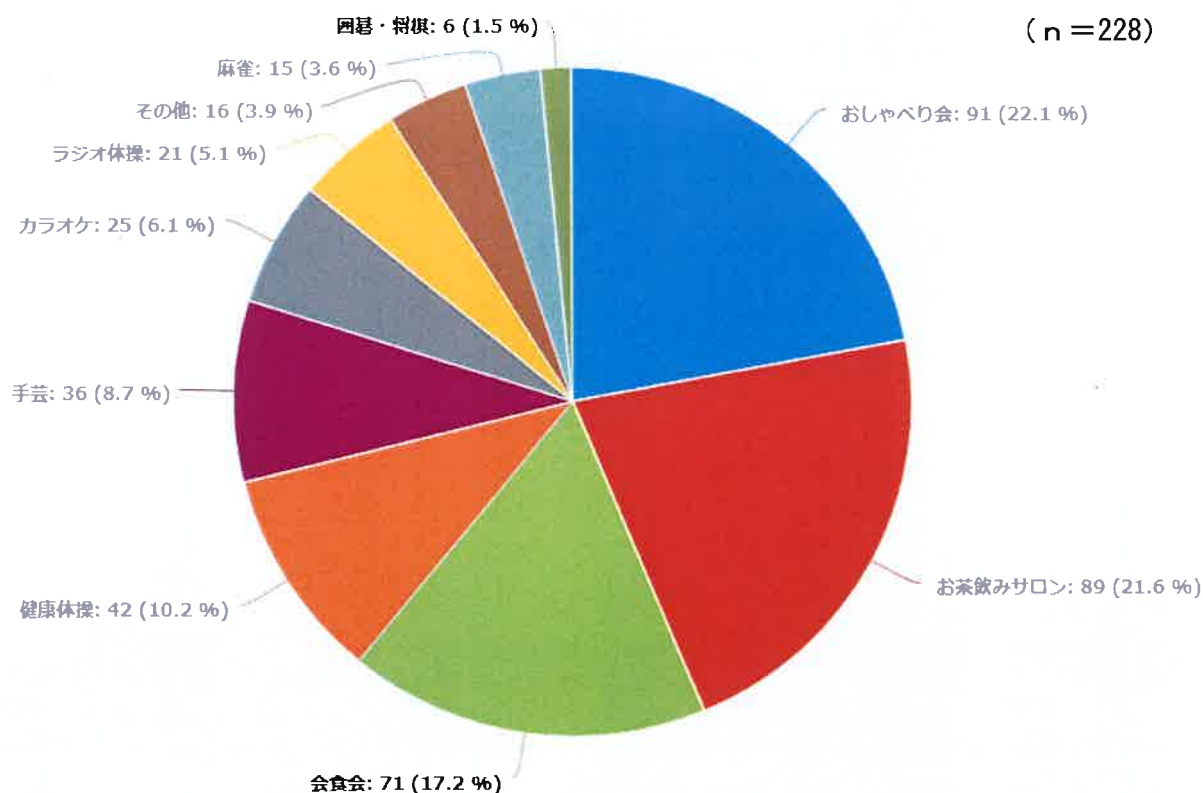
回答者の 77%の方がテレビを選択されています。孤立・孤独との関係では、楽しみが少ない方ほど、孤立・孤独感が高くなっています。

⑨地域で開催されたら参加したい催し 【自治会館等】※複数回答あり



お茶飲みサロン、会食会、おしゃべり会の順となりました。手芸や麻雀といった内容の希望者が複数いらっしゃいました。

【自宅や近隣のお宅等】※複数回答あり



おしゃべり会、お茶飲みサロン、会食会の順となりました。「自治会館等で開催されたら参加したい」内容と若干の違いがあるようです。

⑩コミュニケーション頻度 直接・電話・SNS と孤独・孤立の関係

1) 直接会って話す

(n=409)

2. 世帯構成	独居	夫婦世帯	2 世代世帯	3 世代世帯	合計 (①直接会って話す)
①直接会って話す	110	148	135	16	409
全くない	5	2	1		8
月 1 回未満	6	14	9	1	30
月 1 回程度	9	20	9	2	40
2 週間に 1 回程度	10	13	17	2	42
週 1 回程度	26	37	24	3	90
週 2 ～ 3 回程度	38	31	32	4	105
週 4 ～ 5 回以上	16	31	43	4	94

2) 電話

(n=360)

2. 世帯構成	独居	夫婦世帯	2 世代世帯	3 世代世帯	合計 (②電話 (ビデオ電話含む))
②電話 (ビデオ電話含む)	95	135	114	16	360
全くない	5	3	7		15
月 1 回未満	9	8	16		33
月 1 回程度	8	23	12	1	44
2 週間に 1 回程度	10	14	7	4	35
週 1 回程度	23	23	20	6	72
週 2 ～ 3 回程度	24	45	24	3	96
週 4 ～ 5 回以上	16	19	28	2	65

3) SNS (LINE 等) や電子メール

(n=301)

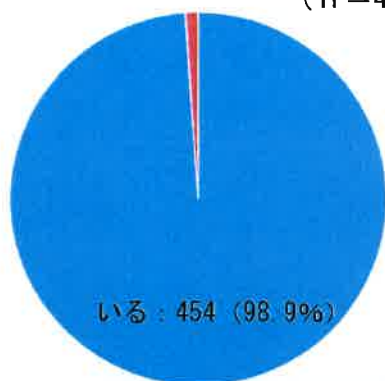
2. 世帯構成	独居	夫婦世帯	2 世代世帯	3 世代世帯	合計 (③SNSや電子メールなど)
③SNSや電子メールなど	76	116	97	12	301
全くない	28	15	22	1	66
月 1 回未満	3	4	9		16
月 1 回程度	2	9	6	2	19
2 週間に 1 回程度	5	10	7		22
週 1 回程度	7	23	16	2	48
週 2 ～ 3 回程度	13	24	17	2	56
週 4 ～ 5 回以上	18	31	20	5	74



⑪ 困った時に頼れる人

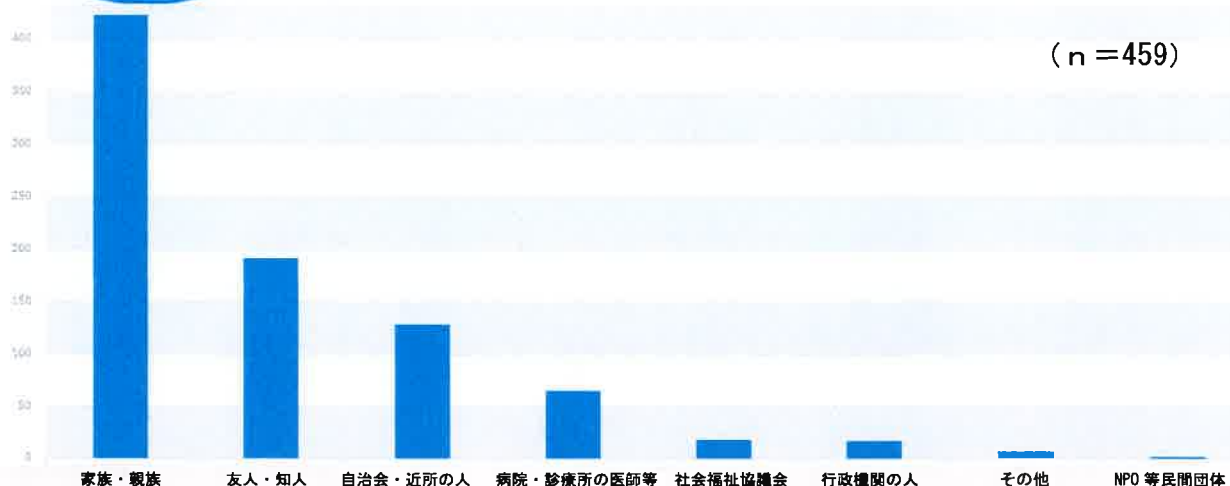
※複数回答あり

いない：5 (1.1%) (n=459)



困った時に頼れる人の存在についてお聞きしたところ、98.9%の方が「いる」と回答されました。

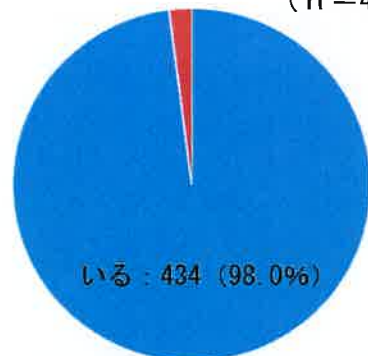
「いる」と回答された方に、頼れる人についてお聞きしたところ、92.4%の方が「家族・親族」を選択されました。次いで、「知人・友人」が41.8%、「自治会・近所の人」が28.1%となりました。



⑫ 不安や悩みの相談相手

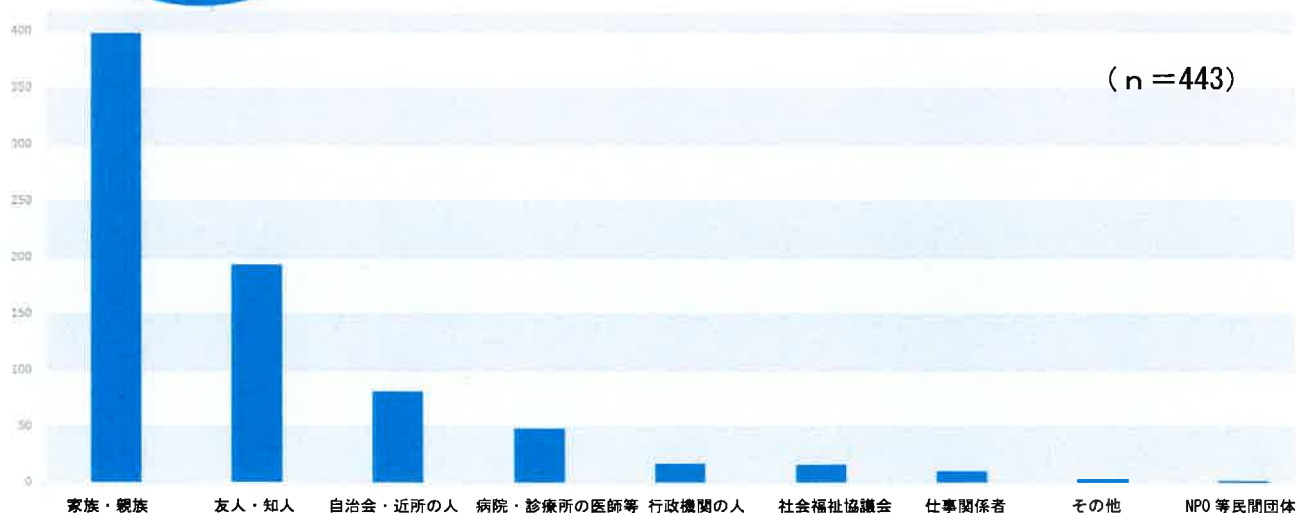
※複数回答あり

いない：9 (2.0%) (n=443)



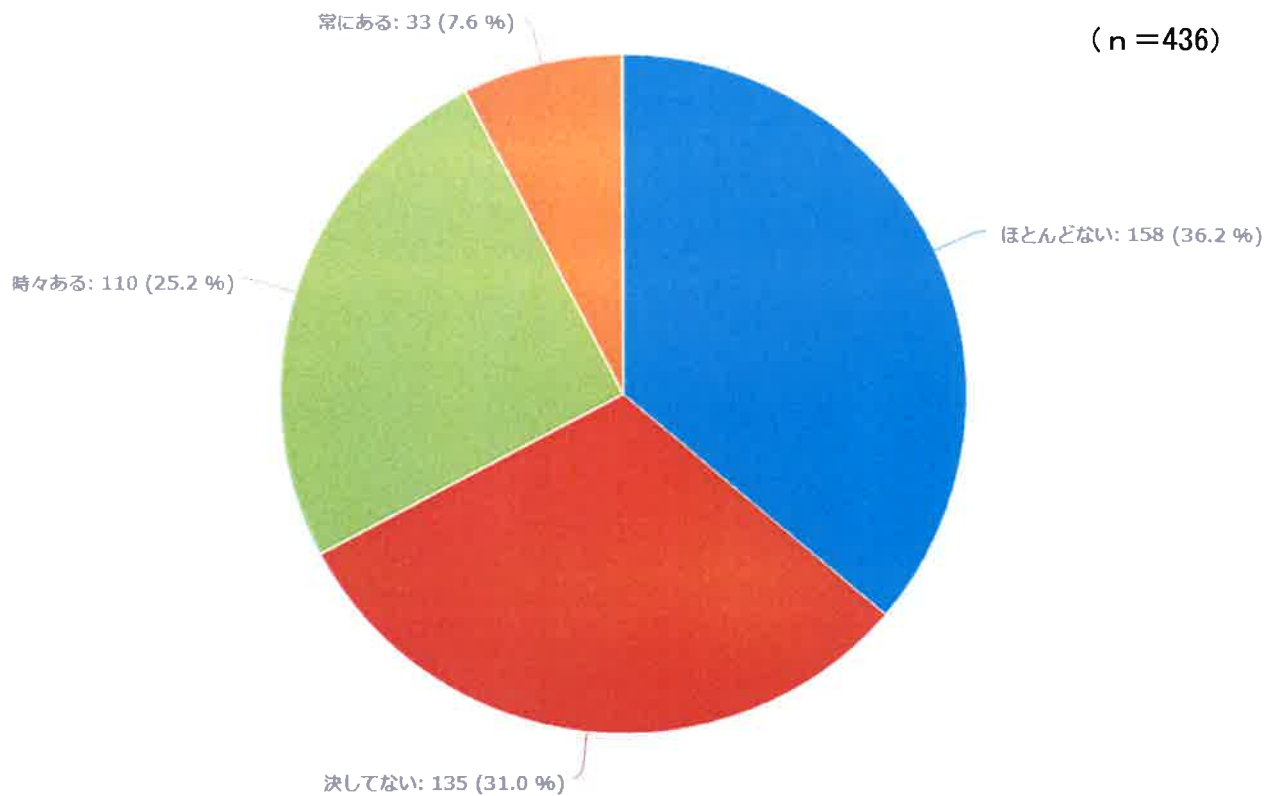
不安や悩みの相談相手についてお聞きしたところ、98.0%の方が「いる」と回答されました。

「いる」と回答された方に、相談相手についてお聞きしたところ、90.0%の方が「家族・親族」を選択されました。次いで、「知人・友人」が43.8%、「自治会・近所の人」が18.5%となりました。



⑬自分には人とのつき合いがないと感じるか

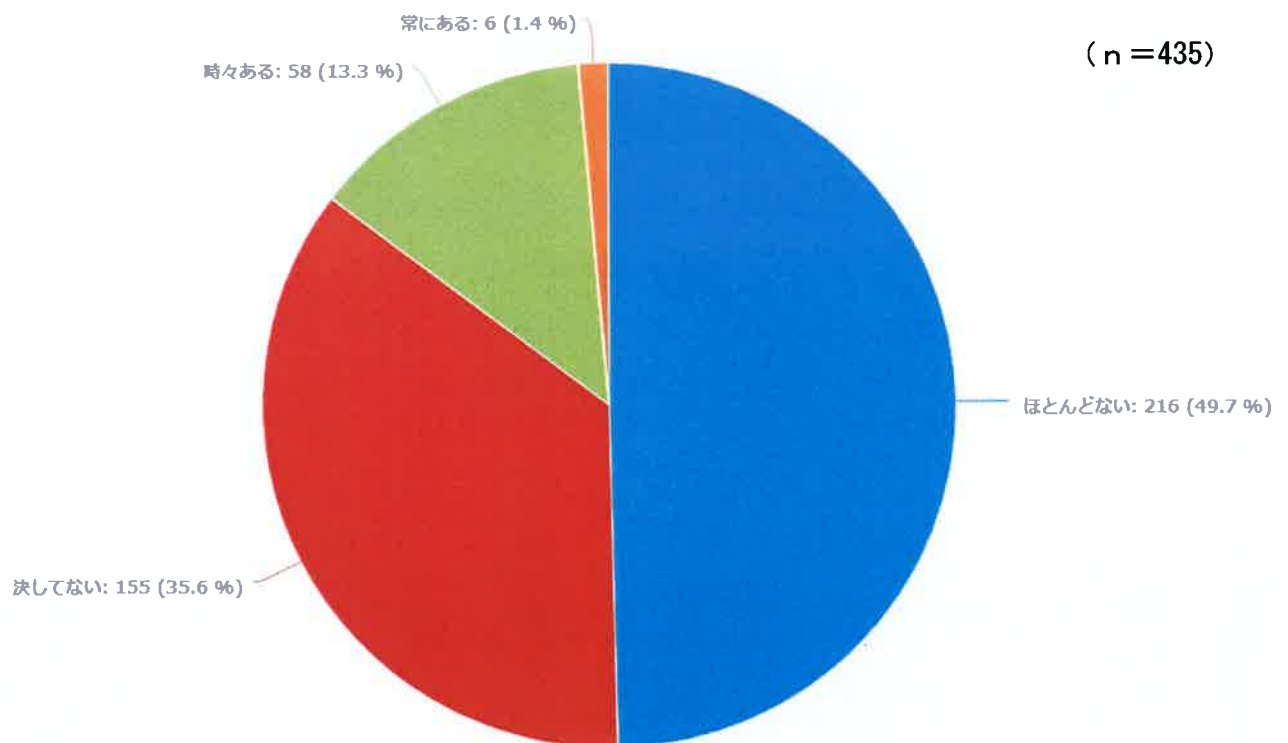
【間接質問】



回答者の 32.8%の方が、自分には人とのつきあいがないと「常にある」「時々ある」と感じています。

⑭自分は取り残されていると感じるか

【間接質問】

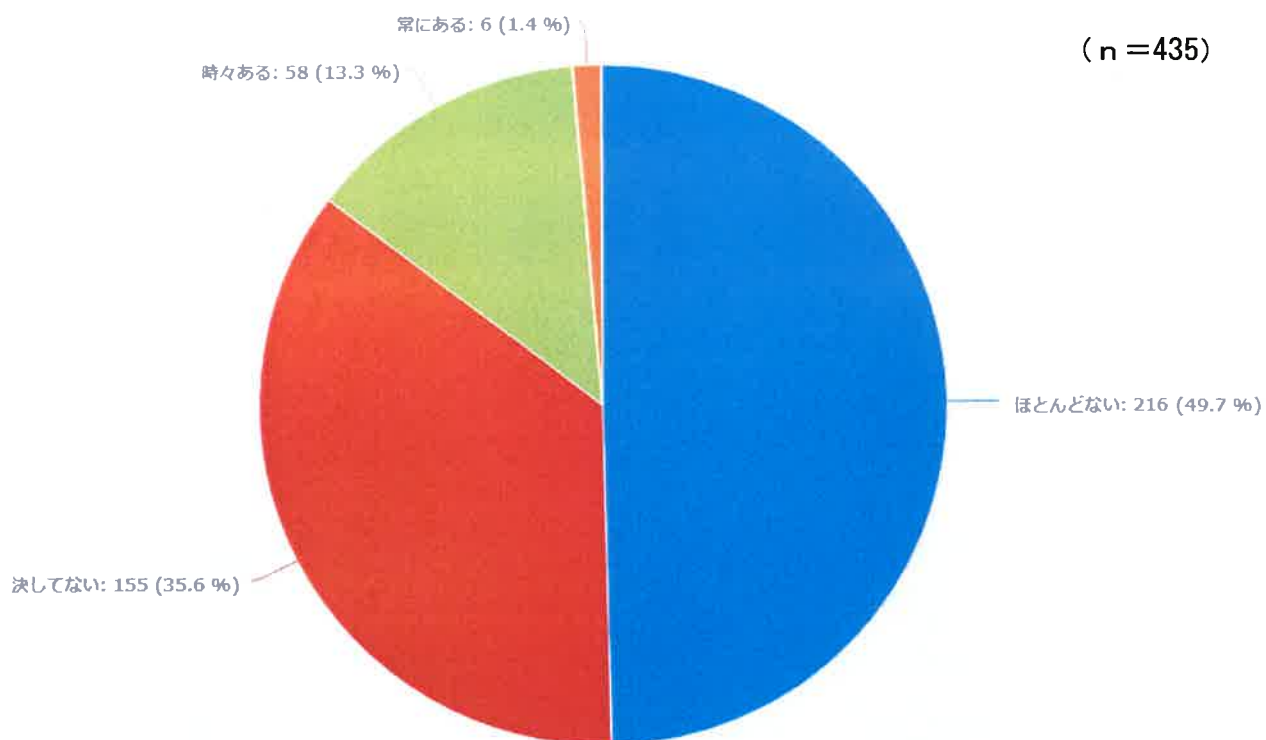


回答者の 14.7%の方が、自分は取り残されていると「常にある」「時々ある」と感じています。

⑮ 自分は他の人たちから孤立していると感じるか

【間接質問】

(n=435)

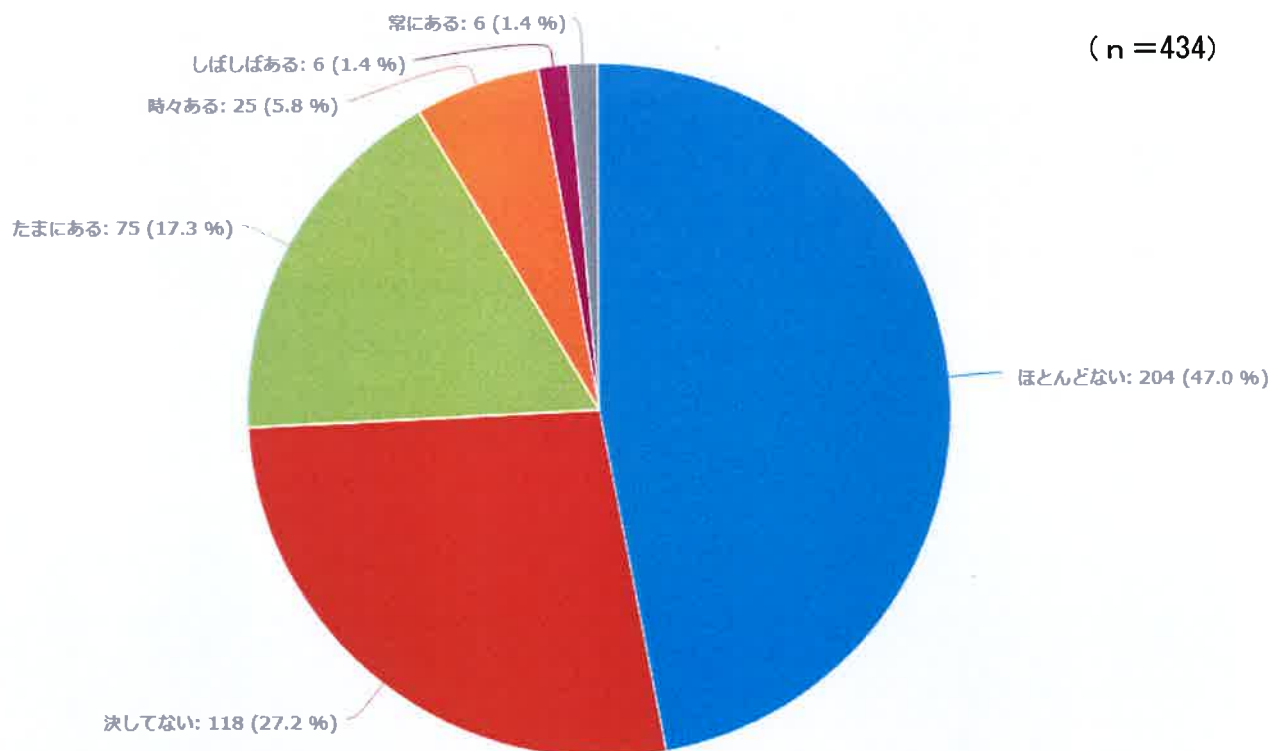


回答者の 14.7%の方が、他の人たちから孤立していると「常にある」「時々ある」と感じています。

⑯ どの程度孤独であると感じるか

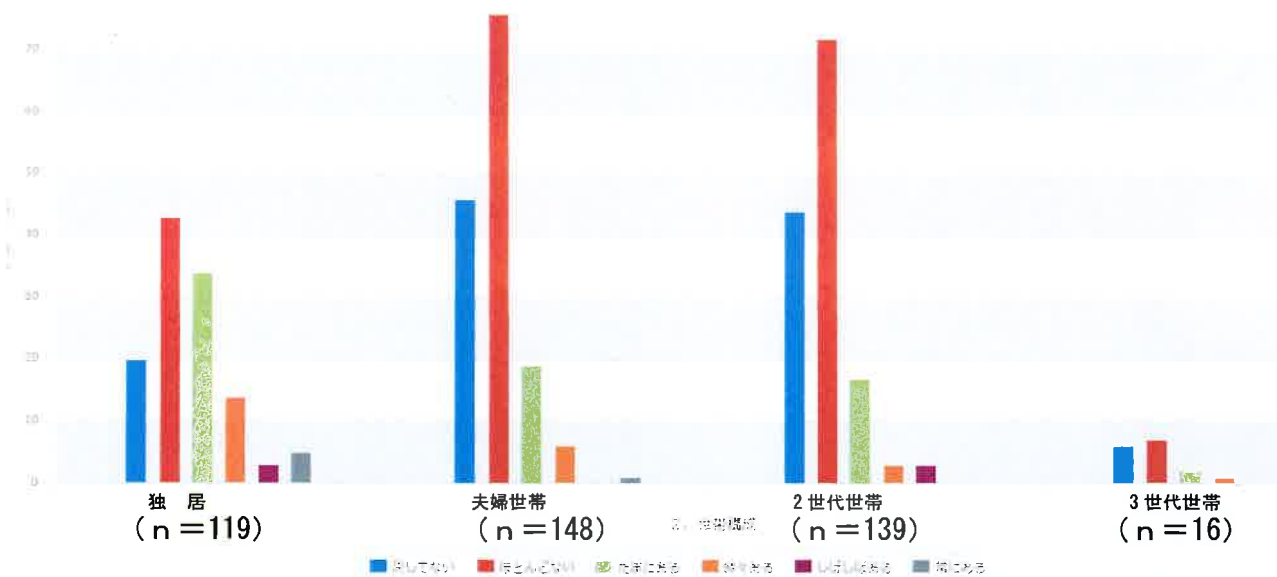
【直接質問】

(n=434)



回答者の 8.6%の方が孤独であると「常にある」「しばしばある」「時々ある」と感じています。

世帯構成別孤独感



クロス集計による分析

【自治会加入状況と困った時に頼れる人、不安や悩みの相談相手】

「遠くの親戚より、近くの他人」というコトワザがあります。遠方に住む親類よりも、近くに住んでいて日頃から付き合いのある他人の方が、いざという時に頼りになるという意味ですが、少子・高齢・核家族化が進む現代では「近くの他人」と、いかに関係性を保つことが大切か。本調査の設問の「困ったときに頼れる人」「不安や悩みが生じた時の相談相手」の回答で、「自治会・近所の人」の選択で大きな差がでました。

◇頼れる人 = 自治会加入者 29% 未加入・退会者 14.2%

◇相談相手 = 自治会加入者 20.2% 未加入・退会者 0%

上記の様に、自治会加入状況によって「いざ」という時に身近に頼れる人、相談相手が存在するか否かに大きな差があることが明らかになりました。



【外出頻度による孤独・孤立感の違い】

外出頻度が週5日以上や3日～4日の方と、週1日未満や外出しない方では、「孤立していると感じる」「孤独であると感じる」割合が大幅に異なりました。（約4.7倍）外出頻度が高くなることで、孤独・孤立感が薄れるという結果となりましたが、背景的課題として、フレイル・運転免許返納などにより外出が困難な方も少なくありません。

加えて、徒歩での移動距離が500m圏内（10分程度）の方が、全体の約4割と高い割合でした。



今後は更なるフレイル予防に加えて、利便性の高い外出手段の確保が大きな課題です。 ※自由記載に複数の意見あり

【スマートフォンの活用による孤独・孤立感の違い】

スマートフォンの所有率が上がってきています。スマートフォンの所有・活用内容によって、孤独・孤立の解消につながる事が分かりました。

スマートフォンの非所有の方は、所有者よりも孤立感が3.28倍、孤独感が4倍と高い割合となりました。

また、所有者の中では、SNSや電子メールを週4～5回使う方と全く使わない方では孤独感が7.14倍となりました。スマートフォンの上手な活用で孤独感を緩和する効果があることが明らかになりましたが、その用途は電話のみの方から、



メール・SNS・ネット通販・キャッシュレス決済など多岐にわたる方など、大きな差がありました。継続的に「スマホ教室」などを開催し、効果的な活用を推進する取組が必要と思われます。

地域のつながり実態把握調査 自由意見

★自治会の活動や加入についての考えや意見（自由意見）

【活動へのご意見】

- ・地域での活動に参加することは居住する上で欠かせない
- ・地域のつながりとして自治会への加入は必要。
- ・近所に住み人達との顔の見える関係は大切。
- ・同世代の方々以外の人達とも知り合いになれる場所だと思います。
- ・活動やお祭り等で親しくなったり友だちになったりする。
- ・自治会への加入はしておいたほうが良いと思います。
- ・自治会に入っていると、いろんな人と知り合える
- ・つながりが重要で、皆に関心を持って欲しい。是非加入を。
- ・地域のつながりを良くするため、積極的に参加している
- ・地域活動は生活していく上で大事なこと
- ・地域との結びつきのために加入しています
- ・地域の人々とのつながりができ良いと思います。
- ・地域のつながりの強化
- ・自治会に加入し、人と人とのつながり
- ・かつて自治会長を6年務めました。その時の基本テーマは地域のつながり強化でした。相互扶助、助け合って住み良い地域にでした。災害時の自助・共助・公助に加えて金手では「近助」を加えました。
- ・自治会の誰でもが参加しやすく魅力のある活動（楽しめる場づくり）して、多くの方に加入しやすい自治会にもっていきたい。
- ・加入のつき合いにてコミュニケーションをとり助けあいが必要かと。
- ・気候温暖化が進む中で災害に対する防災活動等自治会の役割は大きいと思う。
- ・自然災害等に対応する為には、常日頃の交流が必要
- ・自治会加入は日常はもちろん、特に災害の時は必要。
- ・自治会への加入は絶対必要（防災の対応等）
- ・災害時に頼りになる
- ・夏祭り、毎年賑やかで子どもたちの太鼓やゲームと一緒に楽しませていただき元気をもらう時、時間の過ぎるのも忘れます。ふくしの会も話賑やかで大変楽しいです。
- ・老人会、子ども会となくなったものもありますが、夏祭り、春の祭り、どんど焼き、ふくしの会の活動が続いていることに感謝です。
- ・自分が住んでいる自治会には加入すべきだし、できる限り協力したい
- ・加入メリットは不明。町を保つために必要な団体の一つと思う。人口も加入者も減る中、事業内容を見直してはどうか。（町の下請けを減らす等）
- ・月1くらいでペタンク・グラウンドゴルフ他楽しんでいます。
- ・活動に少しでも協力できるのは楽しいです。
- ・月1回お茶会があり楽しみ。
- ・楽しいです。
- ・大変ありがたく、楽しく行っています。
- ・数回（毎月）しています。

- ・自治会役員、組長さんの任務に感謝です。年1回の夏祭り、祭典、楽しかったし今後も楽しみにしています。
- ・多くの人たちとの出会いがあり、楽しみも多い。
- ・自治会の活動にはよく出ます。
- ・都合がついた時は出来るだけ参加している。
- ・行事には積極的に参加しています。
- ・全てのことに参加している
- ・いつも参加しています。
- ・楽しく参加しています。
- ・自治会活動にはいつも参加しています。
- ・良く活動している。
- ・活動に参加している
- ・柳自治会の人以外の自治会の人と比べて色々な行事に多数の人が参加する
- ・自治会の行事に参加
- ・ふくしの会に参加してお手伝いをしている。
- ・年とともに自治会の活動に参加をしようと思います。
- ・できるだけ参加するようにしている。
- ・会員の方と話しをすることが元気のひとつ
- ・自分ができる範囲のことなら協力したいと思います。
- ・町民全員が自治会に入るようにする。
- ・出来る事には参加したい
- ・なるべく参加したいと思っています。
- ・自分の出来ることなら参加したい
- ・他人との立会時間を多く持ちたい。
- ・最盛期より活動は少なくなったが、それでも新宿は頑張っている。
- ・皆さんが役員をやってくださり感謝です。組長が15年後にきますが、90代になります。自治会抜けるしかならないと考えています。役ができない。
- ・和気あいあい満足している。
- ・色々とお世話になっております。
- ・役員の皆様に感謝です。
- ・会長のリーダーシップと役員の活躍がすばらしい。
- ・各役員の方が熱心ですので感心しています。
- ・60年前に結婚でこの地に住み組(自治会)に入り、主人が留守が多かったので、皆様に助けられて今があります。今は自治会を抜ける人が居ますが…。
- ・自治会の行事は大人から子どもまで内容は配慮されている。
- ・自治会活動が活発なので助かります。
- ・各分野でよく活動している。
- ・とても良い
- ・何も無し。良く活動してます。
- ・新宿自治会は年齢層に合わせ活動しています。
- ・良い

- ・もっと大勢の方に参加してほしいです。
- ・加入者にとって魅力がある自治会活動を目指す。
- ・若い人に入って欲しい
- ・皆さんと話し合える場がほしいです。
- ・地域住民との交流が沢山欲しい。
- ・役員さんがやさしい!
- ・全世帯が加入するのが望ましい。
- ・大井町に住んでいる方は基本的に自治会に加入。
- ・加入するべきと思う。
- ・積極的にやるべき。
- ・理想はみんなが加入することですが… 現実的には難しい
- ・加入率が低下していないことを願っています。
- ・自治会員の加入を進める
- ・コロナ以前のように、色々な催しをもっと再開してほしい。
- ・若い人の協力が欲しい。
- ・幅広く自治会のイベントに参加してほしい。
- ・自治会活動は大切と思いますが、現在は忙しくて出来ない。
- ・引っ越してきた若い家族は入らない人がいますが、今の世の中何が起こるかわからないので、近所のつながりは持っていた方が良くと思います。組長とか回ってくるのがめんどくさいのかな?
- ・全世帯加入が望ましいが、未加入でも事足りる現状ではどうにもならないのかな。
- ・やむを得ず退会したが、自治会は必要かつ大事な制度だと思います!!
- ・みなさんとのつながり
- ・頑張ります
- ・皆とソフトバレーやバドミントンをやって
- ・参加
- ・加入強制的に
- ・現状で可
- ・今まで通りでお願いいたします。
- ・今現在で充分
- ・現在のままで良いと思います。
- ・この設問の回答を各自治会長に反映していただければ幸いです。
- ・高齢のため、口出しはしません。
- ・参加(活動)が少ない。
- ・自治会の役員をされている方は忙しく大変だと思います。
- ・活発に活動していると思う反面、役員さんは大変だろうと思う。
- ・変わるべき。連合自治会として。
- ・私は理屈抜きの世代で入会は当たり前。今の世代と一緒にするには無理がある。
- ・どういう意味があるのか、分からなく煩わしいと思っている人がいるというのが現状だと思う。
- ・全般に自治会活動に対する関心が薄くなっている
- ・こちらへ来た当初は知り合いもなく自治会や行政が頼りでしたが、現在の若い方は自治会に参加することが煩わしいと感じる人もいるのでは。(参加しなくても困ることがない?)

- ・転居してきたので気心が知れない
- ・自治会に加入していないと人とのつながりが無いので、一人だと何かの時に心配です
- ・中間層（40～60）の活動が少ない
- ・フリーに参加できることのPR不足。
- ・高齢になってくると組長当番が困ってくるのが苦痛です。
- ・数年前代表自治会をしていた時、上大井に居住して自治会に加入する気持ちの無い方が多い、防災にも理解・協力の無い方が多い。残念！
- ・高齢化により自治会を退会する方が増えている。
- ・高齢になって参加は少なくなり、つき合いも薄くなった。
- ・原則加入を守らず、自己都合による未加入または退会者がでていいるのは遺憾である。自らの意志で人との「つながり」を絶つのはいかなものでしょうか？
- ・退会する人が増えて心配です。
- ・皆さん頑張って活動されている中、協力ができず申し訳なく思っています。
- ・未加入者・退会者が出るのは山田常設を含む自治会費負担金（10,000円）が高いことが若い世帯に受け入れられないのでは？常設消防負担金（年間3,000円）、山田地区約100万円の活動費がどのように使われているのかが情報公開願いたい。各地で問題化。
- ・役員の方達を中心によく考えられた活動をしていると思います。が、新しく居住された方の中には自分の都合の良い時のみ自治会を利用する人がグループでおり問題です
- ・自治会行事の見直し 周囲見回しても年寄り世帯が大半。数年後の組長任務はとても無理
- ・最近若い人達は脱退や未加入者が増えている。又役職をやりたがらない。回避する方法はないものか？
- ・組長、広報配り、防災担当
- ・子ども達と別居生活中のため、全て欠席させていただいております。
- ・活動参加楽しくしてます。会場への距離が遠いので、これからは不安です。
- ・高齢化のため脱会者が多い。このため、地域（となり同士）のつながりが減っている。理由は「組長や活動などの役ができない」という意見が多い。このため、ゆるやかな自治会（組）活動（自治会や組に入っているだけで良いという軽い負担）があればいいと思う。）
- ・高齢化が進み、5年後スムーズな活動ができるか不安
- ・加入しているメリットは何？なぜ退会者が多いのか？
- ・実行側として長年協力してきた。
- ・全員が自治会会員に。
- ・心ない人もいるので、そこそこのお付き合いで良い。
- ・多くの人に自治会に入会してほしいと思う。
- ・必要最小限での参加
- ・自治会は色々の役員を決めるが、難しくなった
- ・高齢になり、自治会活動、組長など行えるか不安。
- ・年をとりますと組長の仕事ができず心配です。しかし、加入しないと地域のことがわからなくなることも不安ですので…。
- ・高齢になり自治会活動参加に不安はある。
- ・自治会でも年寄りのお茶サロン等やっていますが、デイサービス等と日が重なり中々行けない。バス旅行行きたいが皆さんに迷惑かけると思うと行けない。
- ・参加者が少ないと思う。

- ・年齢と共に出席することが苦痛になってきてます。
- ・高齢のため活動はできない
- ・自治会役員になると、年間の活動件数が多く（特に町関係）役員になり手がいないです（年齢が皆さん高くなり自由に動けない）
- ・高齢化のため、すべての面で活気がなくなっている
- ・柳自治会は何でも半日はかかります。それがボランティアで、仕事をしている人は大変です。見直してほしいです。
- ・ぬけたい
- ・草刈り等の美化活動が多く、高齢者が増えているので大変である
- ・高齢世帯、日曜出勤有の世帯は無理（共働き）
- ・自治会費、消防への寄付、社協への寄付、それに清掃活動の出不足金を支払っているに、そのメリットが無いので近い将来、脱会を考えている。
- ・高齢になるにつれ出来る活動に負担を感じる部分もあり、参加も難しいと感じる。
- ・歩いて行くのが遠いので参加できない
- ・年よりは歩いて参加がたいへん
- ・歩行困難の為、自治会館まで行くの困難
- ・足が悪いため、自治会の行事不参加。
- ・特にない。足が痛くて行事には参加しておりません。
- ・腰、膝の手術を致し皆様と一緒に活動出来ませんので退会致しました。
- ・最近加入者が減少してきていることで、この先活動が先細りになることに不安を感じる。
- ・自治会退会の方が多く困惑しています。
- ・自治会をやめる人がですぎて心配。
- ・今、脱会する方が多いです
- ・行政の下請け的な要素を強く感じる。
- ・若い人の加入が無い。仕事のために加入しない。
- ・自治会に加入していないため、今は参加出来ることがなくさみしい。
- ・役員のなり手がいないので、人選に苦労。
- ・何をやっているか分かりません。
- ・役員さんは大変で、三役の選考はいつも苦慮しています。
- ・一人暮らしで組長の仕事はとても大変です。もっと簡素化して欲しい。
- ・今一人組長です。他の組に入るよう勧められている。退会を考えている。
- ・自治会の行事についてはあまり参加できていません。
- ・人それぞれ自由な生き方があるので、自治会活動にはあまり興味が無い。
- ・年々役員なり手の減少。負担が多いのでは？
- ・大井町へ入居してくる人が若い世帯のため、なかなか自治会へ入会する人が少ない。町がもっと積極的に入会を勧めて欲しい。
- ・自治会への加入も少なく、表札のない家が多い。朝夕のあいさつもなく防犯・災害時などの不安もある。
- ・①6500円/年会費がちょっと高いかな。②清掃・回覧板など難しいところは助けてくれる
- ・清掃に参加しないとお茶代のような費用が発生する
- ・必要無いと思います

地域のつながり実態把握調査 自由意見

★外出時の手段についての現状・課題（自由意見）

【外出時の現状・課題・ご意見】

- ・後期高齢者で運転免許証を返納したので外出する機会が減った。
- ・運転免許の取消し申請済のため、肥料等の園芸資材を購入した後、自宅への運搬が不自由になった。
- ・免許返納後外出が減る
- ・八十歳夫婦、それぞれ免許証は返納しそれぞれの車は手放しました。不便です。でも、バス、JR、タクシーを使って生活を楽しんでいます。
- ・免許返納後の日常が心配です。
- ・天気予報を参考に運動も兼ねてできるだけ自転車を使用。友人との行動は、車を運転する方をお願いすることに…だんだん免許返納の方が多くなっています
- ・今は車ですがいつまで使えるか心配
- ・今は何かと運転できますが、この先心配です
- ・今は車の運転が可能だが、運転できなくなったらと不安です
- ・まだ車を運転できるから良いが、免許返納したら、移動手段に不便を感じます。
- ・今年免許更新するが、いつまで車が乗れるか心配だ。
- ・今のところ車（自家用）があるが、これから乗れなくなったら心配である。
- ・車に乗れなくなったら大変困る。
- ・自動車免許返納時の交通手段を考える
- ・現在は車生活ですが、そろそろ考えています。
- ・返納も検討しているが活動範囲の関係で決断できていない
- ・いつまで運転できるか、危ない時はサッパリとやめる。
- ・家人の免許返納後の交通手段に不安はあります。
- ・今後免許を返納したらたいへん不便になる。以前は巡回バスを利用したが、停留所が遠くなり利用できなくなった。歩行が辛いので、途中乗車が出来ると大変ありがたいです。ご検討をお願いします。
- ・現在は車で外出しているが、来年からは徒歩になるので不便になる。
- ・運転免許返納時の交通手段確保に大変不安を感じている。タクシー券の無償又は有償配付を是非考えて欲しい。
- ・今現在は車で買い物はしているが、今後不安である。そうわ会館にミニ買い物カーが来てくれることを願います。そうわ会館にカフェを置いて自由にお茶飲み、おしゃべりができることを望みます。
- ・今は運転できますが、年とともにできなくなった時のことを考えると不安です。
- ・2年後ぐらいに運転免許証の返納を考えていますが、その後の外出等
- ・免許返納を考えるが、買物やひ孫のお守りを頼まれる現状では返納不可である。
- ・現状はないが、運転できなくなった時に心配です。
- ・巡回バスで通えているので助かっています
- ・徒歩、電車、巡回バス等で可能な限り外出を続けたい。
- ・巡回バスは時間、場所で使用していない。
- ・バスの回数が少ない。
- ・バスを増やしてほしいです
- ・町のバスはバス停が遠い。路線バスは本数が少ない。
- ・バスの回数が少ないので1時間に1本位は欲しいです

- ・バスの回数が多いと願う。
- ・バス等がほとんどないので、運転できなくなったら不安
- ・バスや電車の数が少ない
- ・巡回バスを利用したいが、乗降地点を自宅の近くにしてほしい。
- ・巡回バスが新宿は1回しかなくて困る。他は全部役場に行かないといけない。
- ・バスがもう少し多いと助かります。
- ・バスの本数が少なく、大変困っております。
- ・バスが少ない
- ・町内循環バスの拠点の増加と増便が欲しいです。
- ・バス利用してますが、回数が少ないのでたいへん苦勞してます。
- ・バスに乗っている人が少なく、廃車になってしまたら困ります。
- ・交通の便が悪くもう少しバスの本数など考えていただきたい。
- ・今は歩いてどこでも行けるが、歩けなくなった時、町のバスがこまめに巡回してくれると助かる。
- ・3年前に車の運転はやめました。電動アシスト自転車にしたら雨天は困りますがタクシーを利用しています。町のバスは遠くて利用できません。
- ・町バス利用無し。
- ・電車、バスを乗り継いでスーパー等へ 何かと興味を持つ
- ・今は車で出かけられるけど、のちに車を運転できなくなったら…バス、電車だと思います。
- ・マイカーによらない不便さ切実に感じる。ゆめバスのバス停を郵便局・さがみ信金付近に望む。
- ・行く時は巡回バス使用しても、帰りは歩かなければいけない。
- ・自家用車で移動しているが、今後（免許返納後）は巡回バスを利用したい。乗降地点を多くして欲しいです。夫は半身障がいがあり歩行は難しい。
- ・家族の送迎がほとんど。巡回バスはいつどこに来るのか分からないから無関心
- ・外出は月に3回ぐらい、病院とお寺に行っている。バスに乗って松田ぐらい行きたい。
- ・いつまで原付バイクに乗れるかしら？巡回バスを利用するかもしれない。
- ・電車ですが、不便で面倒になります。
- ・御殿場線の電車の本数が少ない。
- ・御殿場線、スイカが使えるようにしてほしい。
- ・電車の場合、御殿場線がもう少し本数を多くして欲しい。
- ・電車の本数を増やしてほしい。
- ・相和地区は交通の便が悪いので高齢でも自家用車で移動するしかない
- ・自動車は必須
- ・徒歩しか手段がない場合の重い品の買い物が心配(食料品以外)
- ・キャッシュレス、のカード時代なのに、東京・横浜に出てPASMO・スイカが使えない。国府津で精算しなければならず不便。共通性が必要。
- ・移送サービス・他
- ・長時間歩けないのでほぼタクシーです。
- ・歩けるところはいいのですが、電車等に乗るのは面倒になりました。
- ・体全体が動かないので外出できない。何でアンケートの時だけ調査か疑問。
- ・松田駅へのバスが午前中1本しかないので不便がち。タクシー利用です。町のバスは時間帯がよくわからず利用してません。

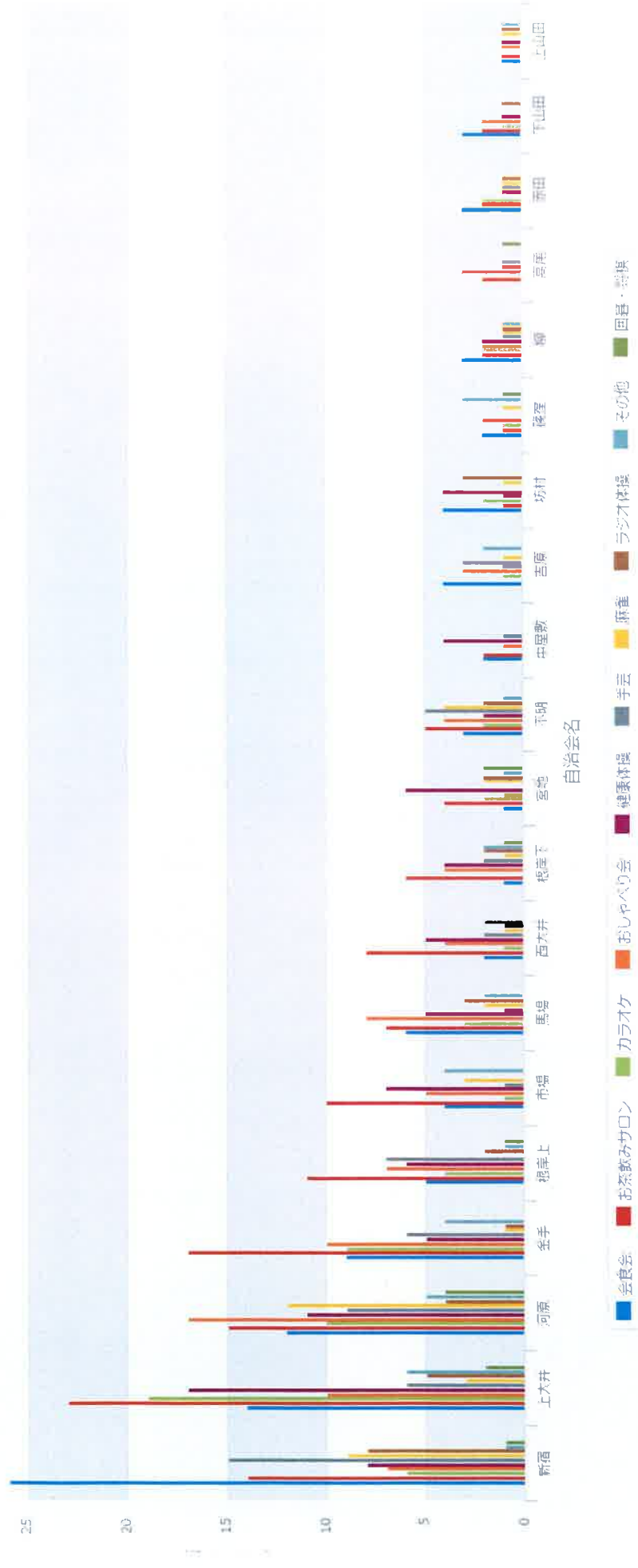
- ・1年後に自家用車なしに。タクシー補助をお願いしてほしい。
- ・高齢で独居者の場合(急病の場合のみ) 要介護等でなくても、運転ボランティアさんをお願い出来るようにしてほしいです。(有料で)
- ・歩行がむずかしい!(自家用車がないと歩けない)
- ・病院、買物等に必要。
- ・年を取ってくると足が問題。町、自治会の重要課題。
- ・自家用車を使用できなくなる75歳以上、78歳までとしても、あと数年後は買物難民、受診難民です!
- ・自家用車が使えなくなったら困るでしょう。
- ・5キロのお米を買うのにいつまで自転車に乗れるか不安。
- ・車がないと外出できません。
- ・買物、通院などのために車を手放せない。
- ・歩行が困難なため車が必要
- ・新型コロナウイルス感染症が発生して以来、公共交通機関を利用しなくなった。
- ・気分転換、孤立してしまわないように
- ・自由な移動手段がない。
- ・運転が不安
- ・動ける体にと普段から心がけていますが、町の交通手段の不便さを感じます。
- ・自宅周辺に店(食べ物屋・雑貨店など)が無く不便で自動車が出るしかない。
- ・のりーとを利用したい。安く気軽に。
- ・自宅から離れた場所に行くのに困る
- ・徒歩辛くなってきた。
- ・徒歩の場合、膝痛のため長距離は不可。
- ・食料品を買いに行くために外出しているが、できれば外出したくない。
- ・今は足腰が丈夫だから徒歩・自転車で動けるけど、先が心配です。
- ・現在膝が悪く、通院しているので「バスが通っていない場所」なのでバイクで行っています。今後バイクに乗れなくなったらどうしようかと思ひます。
- ・社協の送迎車を利用していますが、帰りにコンビニとか郵便局など寄っていただけると助かります。
- ・運動能力の低下
- ・町には公共交通機関が不便
- ・1人では外出できない。送迎車でのみ。
- ・つかまれば歩けるが、日々の移動範囲は自宅内のトイレくらい
- ・歩けないので、車いすで介助が必要
- ・車いす移動のため1人で外出が出来ない
- ・シルバーカーを押したり妹に送迎してもらっています
- ・自転車のため事故のないように気をつけたい
- ・何時まで自分が車に乗れるか不安もある
- ・30分以上でも徒歩可能
- ・散歩するのも良いのでは?週2~3回
- ・今の所不便なし
- ・なるべく徒歩(歩いて10分以内)で外出、それ以外は自動車で外出 徒歩のスピードが年齢が高くなるにつれ、遅くなっています ウォーキング時は1~2時間くらいはOKです

- ・天気、身体、気温を意識して外出しています
- ・運転するので、特に困っていない
- ・現在は自分で移動できているので特になし
- ・今のところ不便は感じておりません。
- ・最近外出は家族送迎が多い。
- ・杖を使って歩いていますので車に乗せてもらっています。
- ・車で出る時が多い。
- ・混雑を避けてる。
- ・歩行時、手押し車を使用
- ・今のところは自分で運転できていますが、不便になると思います。
- ・毎日5000歩
- ・外出に不便を感じていません。
- ・自分自身は自動車運転免許証は70歳で返納済み。それ以後現在まで妻（76歳）運転する車に同乗、病院通いしているので現状での問題はない。
- ・出来るだけ車の移動を続けたいです。
- ・小田原まで小田急-JRで3か月に一度病院へ
- ・車にいつまでも
- ・当面は免許あり、不自由なし。
- ・車での外出でない時は電車利用（遠出）
- ・遠出の際のみ車
- ・〇〇教室、畑、買物
- ・できるだけ歩くようにしています。
- ・趣味もあり、大学時代よりのつき合いもあり外出は若い時と同様にしています。
- ・近くは徒歩で行きます。
- ・現時点では不自由してない。
- ・デイサービスに週2回通っている。
- ・家族送迎等があるため。
- ・まだ自分で運転できるので今は問題ない。
- ・息子が弟にお願いしています。
- ・十分な睡眠と水分補給、適度な運動、アルコール控えめ。
- ・まだ問題は無い。
- ・スーパーに買い物
- ・足の運動に自転車で1時間くらいなら出かけています。
- ・子どもにお願いしています。福祉の移送サービス、買い物ツアー。
- ・85歳の老婦人というだけで無理はしない。まわりに迷惑をかけないようにしている。
- ・息子が週2〜3回来るのでショッピングに出かける
- ・徒歩は食品、猫の食事やお米などは友達に買ってきてもらう。タクシーは農協など行くときに利用する。
- ・買物で出かけることがほとんどで、心配はありません。
- ・歩行困難のため、買物は主人の運転で近くのスーパーに行きます。
- ・車の運転が出来なくなった時、身体が不自由になった時にご近所さんに助けていただけるように今から仲良くしています。

- ・色々な手段を活用している。
- ・元気なので分からないが、今後民間事業者が自治会形成にも関わってくる。
- ・現在のところは、路線バスやゆめバスに合わせて外出しています。
- ・交通機関を使用、電車や自転車、徒歩。健康（体・足を）鍛えて、を常に実行しています。
- ・車に乗れないので、時々長男に来てもらい買い物に行ってます。
- ・ちょっとした外出は徒歩なので減っている。四季の里でイベントがある時は御殿場線の駅から午前・午後3本くらいシャトル車が出るとうれしい。
- ・社協にはお世話になっており感謝しております。とても助かっております。
- ・車なので活動しやすい。
- ・免許返してから
- ・ほぼ良好
- ・勤務中
- ・自転車
- ・買物だけ
- ・病院～買物
- ・通勤
- ・徒歩
- ・温泉
- ・買い物に行く
- ・買物
- ・買物
- ・特になし

【参考資料】

①地域で開催されたい催し【自治会館等】 自治会別 ※複数回答あり



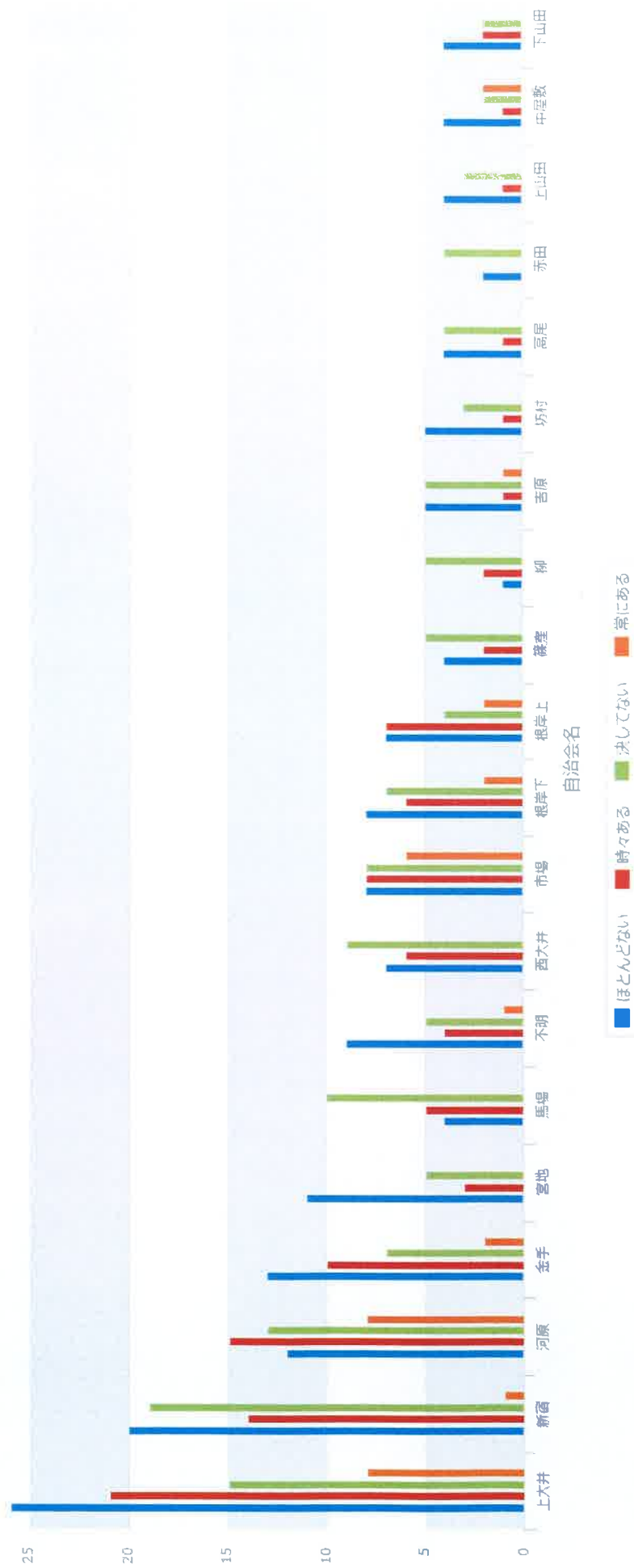
5 頁に記載したとおり「地域で開催されたい催し」(自治会館等)では、1 位「お茶飲みサロン」、2 位「会食会」、3 位「おしゃべり会」でしたが、地域別で見ると全体の順位と異なり、それぞれの傾向が現れました。今後、各地区での取組の参考にしたいだければ幸いです。

②地域で開催されたい催し【自宅や隣近所のお宅】 自治会別

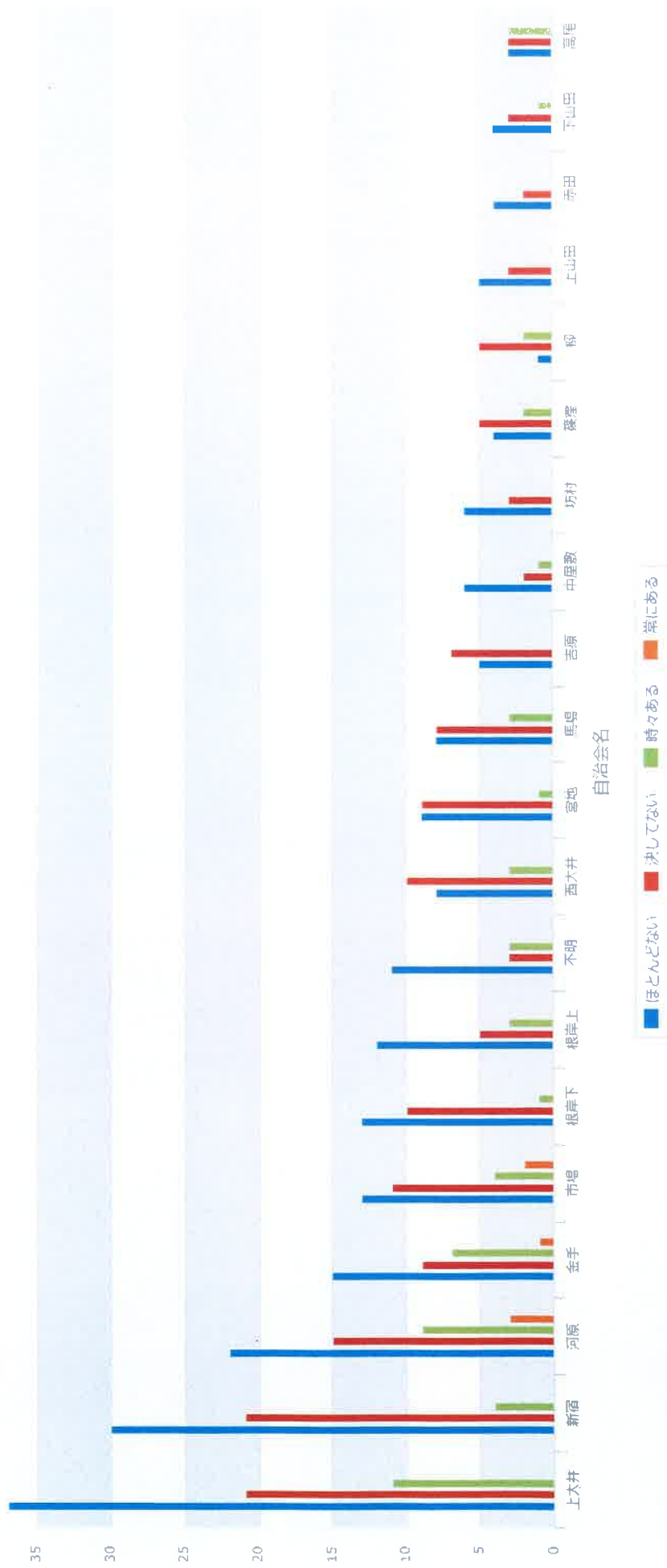


自治会館等ではなく、「自宅や隣近所のお宅」という、より身近で参加しやすい場での活動についてお聞きしました。自治会館等と比較すると、順位に若干の違いはありますが、上位の3項目については同様でした。「自宅や隣近所」で高い要望が上がったのは、会食会やサロンよりも比較的手間などがからない「おしゃべり会」という結果でした。

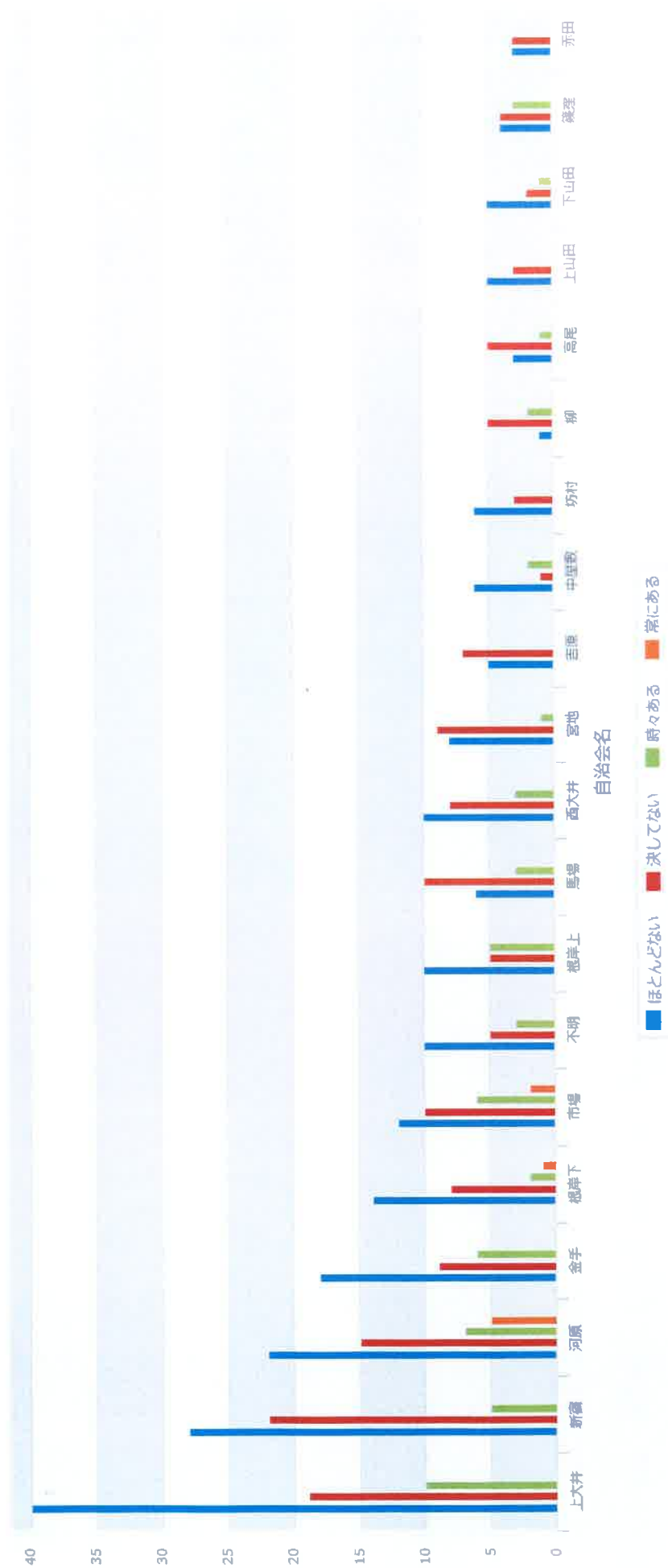
③人との付き合いがないと感じるか 自治会別



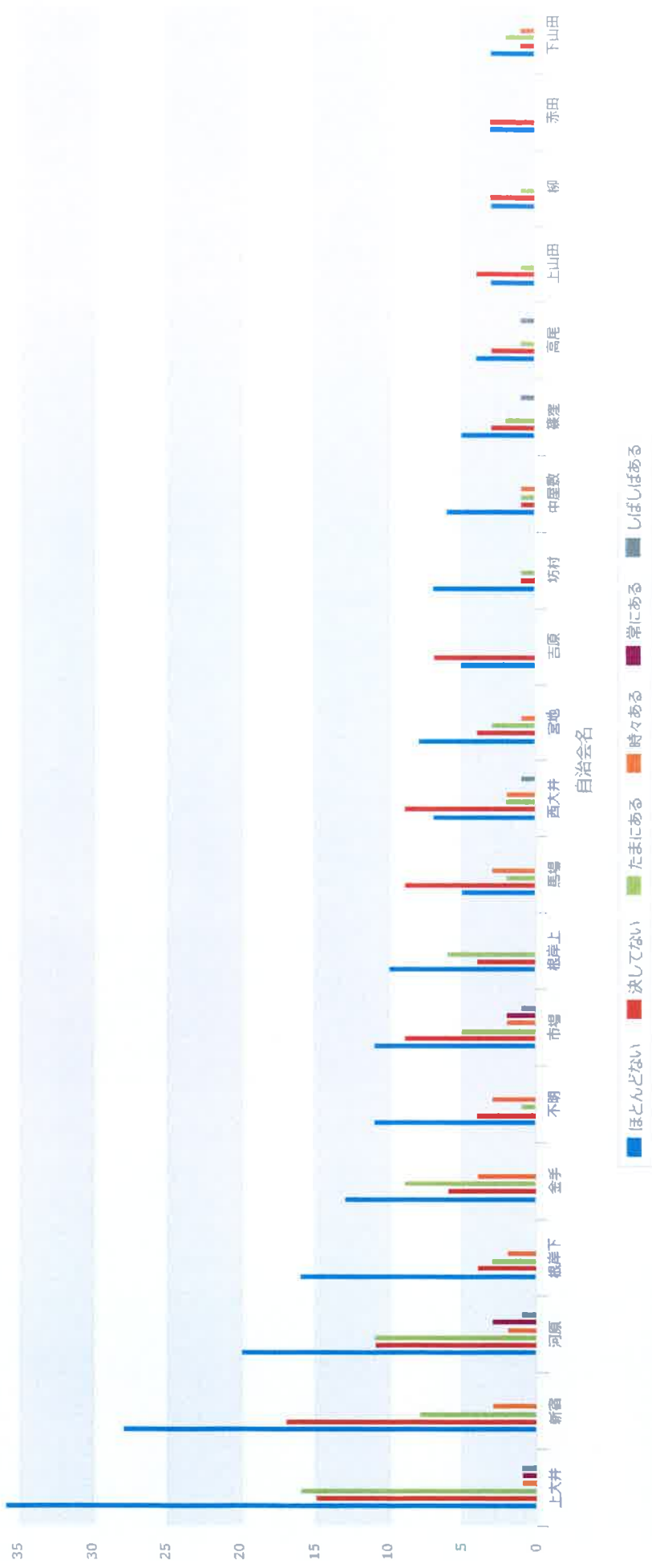
④自分を取り残されていると感じるか 自治会別



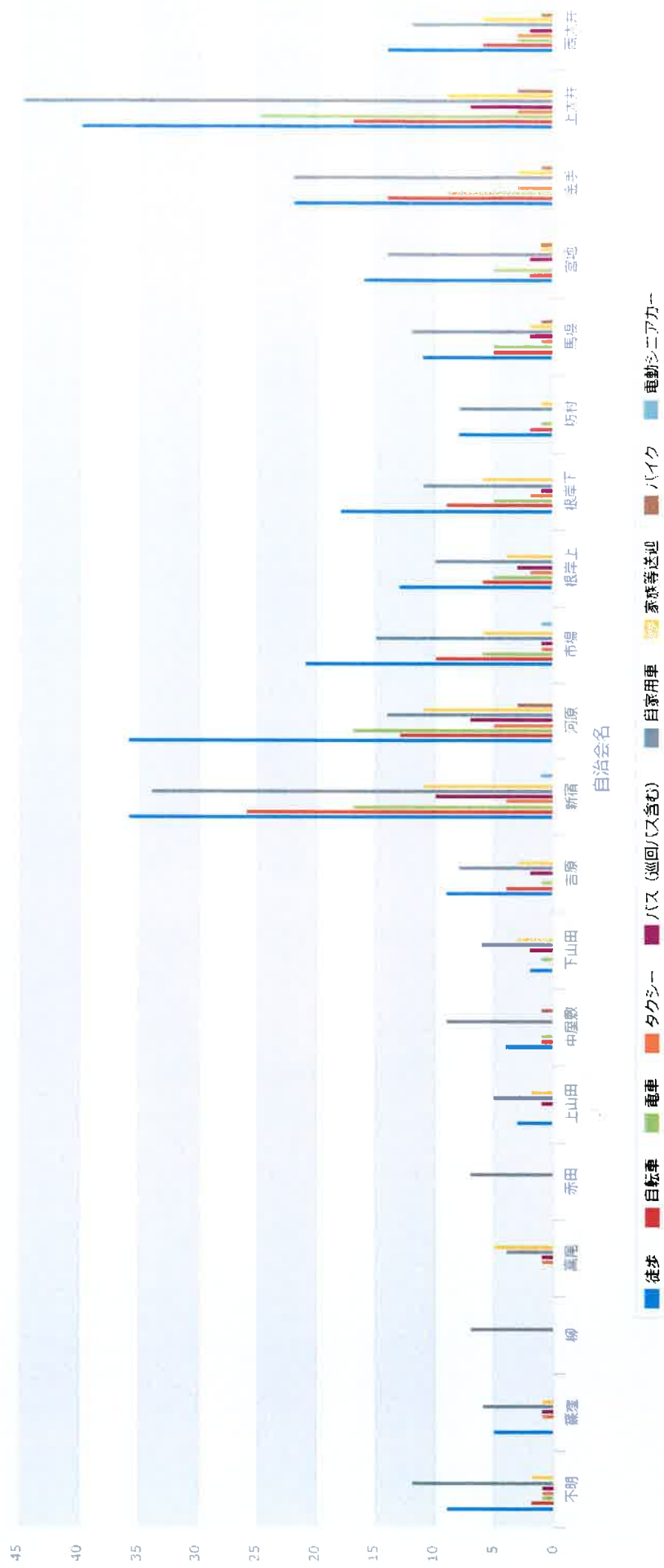
⑤自分は他の人から孤立していると感じるか 自治会別



⑥自分は孤独であると感じることがあるか 自治会別



⑦外出の手段 自治会別



4 頁に記載のとおり、外出手段で一番多かったのは「徒歩」でしたが、地域特性もあってか相和地区では若干低い傾向となりました。全自治会を通じて「自家用車」の利用が高いたことが分かりました。

外出頻度が多い方は、自家用車をはじめ徒歩や自転車など利用する方が多く、外出手段が自立している傾向にあります。一方で、外出頻度が少ない方は、家族等送迎の割合が高く徒歩や自転車の割合が低いといった傾向があることが分かりました。

高齢者の外出手段に関しては、自由意見（18 頁～22 頁）に多数の意見が出されている様に、高齢に伴い運転免許を返納した方が、生活が一変し外出困難になった方や、そうしたことを懸念し運転免許の返納を悩んでいる方など多数いらっしゃいます。高齢者の外出頻度は「孤独・孤立」との関連もあり大きな課題です。